

愛西市男女共同参画に関するアンケート ご協力をお願い

日頃から市政全般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

愛西市では、「第3次愛西市男女共同参画プラン」に基づき、男女がお互いを尊重し合い、個性が生きる“男女共同参画社会”を目指してさまざまな取り組みを実施してまいりました。

このたび、「第4次愛西市男女共同参画プラン」の策定を進めていくために、アンケートを実施いたします。アンケートは、皆様の意識や実態を把握するもので、調査結果は、今後の市の事業を検討するうえでの基礎資料とします。

愛西市にお住まいの満18歳以上の方から2,000人の方を無作為に抽出させていただいた結果、あなた様が対象になりました。この調査は無記名でご回答いただき、調査結果はコンピュータにより統計的に処理いたします。個別の回答等を公表してご迷惑をおかけすることは一切ございません。お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和2年8月

愛西市長 日永 貴章

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・この調査は封筒の宛名のご本人が対象となります。
- ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、あなたの意思を尊重して代わってご回答していただく方をお願いいたします。
- ・令和2年8月1日現在の内容でご記入ください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的にご記入ください。
- ・設問によって、○をつけていただく数を() 内に指定していますので、ご注意ください。

◇調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、9月4日（金）までに
ご返送くださいますようお願いいたします。（切手は不要です）

◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

愛西市役所 市民協働部 市民協働課

電話（0567）55—7113（ダイヤルイン）

(1) 男女の平等感について

問1 あなたは、10年前に比べて男女平等が進んだと思いますか。(1つに○)

1. 大いに進んだと思う
2. やや進んだと思う
3. あまり進んでいないと思う
4. まったく進んでいないと思う
5. その他(具体的に: _____)
6. わからない

問2 あなたは、次のA～Hのそれぞれの項目について、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(それぞれ1つに○)

項 目	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている
A. 家庭生活	1	2	3	4	5
B. 職場	1	2	3	4	5
C. 学校教育の場	1	2	3	4	5
D. 地域活動の場	1	2	3	4	5
E. 政治の場	1	2	3	4	5
F. 法律や制度上	1	2	3	4	5
G. しきたりや習慣	1	2	3	4	5
H. 社会全体	1	2	3	4	5

(2) 生活・教育などについて

問3 あなたは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どのように思いますか。
(1つに○)

1. 賛成

2. どちらかといえば賛成

3. どちらともいえない

4. どちらかといえば反対

5. 反対

→ 問3-2へ

問3-1は、問3で「1. 賛成」「2. どちらかといえば賛成」と答えた方にお聞きします。

問3-1 それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
2. 自分の両親も役割分担をしていたから
3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから
6. その他(具体的に:)
7. 特にない

問3-2は、問3で「4. どちらかといえば反対」「5. 反対」と答えた方にお聞きします。

問3-2 それはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 男女平等に反すると思うから
2. 自分の両親も外で働いていたから
3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから
4. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから
6. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押し付けるべきではないから
7. その他(具体的に:)
8. 特にない

現在結婚している方（又はパートナーと暮らしている方）にお聞きます。

問4 あなたの家庭では、次のA～Mのそれぞれの項目について、主に誰が行っていますか。
（それぞれ1つに○）

項 目	主として夫	両方同じくらい	主として妻	夫・妻以外の家族	外部サービスの利用	該当しない
A. 家の中の掃除	1	2	3	4	5	—
B. 家のまわりの掃除	1	2	3	4	5	—
C. 洗濯	1	2	3	4	5	—
D. 買い物	1	2	3	4	5	—
E. 食事のしたく	1	2	3	4	5	—
F. 食事の後片付け	1	2	3	4	5	—
G. ごみ出し	1	2	3	4	5	—
H. 家計の管理	1	2	3	4	5	—
I. 育児、乳幼児の世話	1	2	3	4	5	6
J. 看病や介護	1	2	3	4	5	6
K. 町内会行事などへの参加	1	2	3	4	5	6
L. P T A・子供会活動への参加	1	2	3	4	5	6
M. 授業参観などの学校行事への参加	1	2	3	4	5	6

すべての方にお聞きます。

問5 あなたは、子どもたちが男女平等の人間関係をつくっていくために、親や大人はどのようなことを心がけるとよいと思いますか。（3つまでに○）

1. 子どもとの会話の中で、「男らしく」「女らしく」を強調しない
2. 性別に関わりなく、家事や子育てや介護についての知識を身につけさせる
3. 様々な場面で、女の子と男の子が協力する機会をつくる
4. お互いを思いやる気持ちや尊重する気持ちを育てる
5. 子どもと進学や就職など将来についての話を積極的にする
6. 家庭の中で性に対する正しい知識を身につけさせる
7. 地域や家庭の中で、夫婦や男女がお互いを尊重し、協力しあう姿を見せる
8. その他（具体的に： _____）
9. 特にない

問6 あなたは、男女平等の人間関係をつくるために、学校教育の場で力を入れることは何だと思いますか。（3つまでに○）

1. 授業や日常生活の活動の中で、男女平等の意識を育てる教育を行う
2. さまざまな教育活動を通して、性別ではなく、個性や能力を生かせる教育の充実
3. 教職員への男女平等教育に関する研修の充実
4. 人権尊重の立場に立った教育の充実
5. 管理職（校長や教頭）に女性職員を登用する
6. 性に関する教育の充実
7. その他（具体的に： _____）
8. 特にない

問7 あなたは、地域の防災・災害対策の体制づくりにおいて、男女共同参画の視点で特に何が必要であると思いますか。（2つまでに○）

1. 男女共同参画の視点での防災に関する研修会などの学習機会
2. 防災訓練や防災研修会へ男女ともに積極的に参加すること
3. 女性の防災リーダーや女性消防団員等の育成や役員への登用
4. 自主防災組織に女性が増えるように努めること
5. 男女がともに安全・安心に避難所を利用するための避難所運営マニュアル
6. その他（具体的に： _____）

（3）社会参加について

問8 生活の中での「仕事」・「家庭生活」・「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお聞きします。あなたの「①希望」、「②現実（現状）」に最も近いものを、それぞれ1つだけ選んでください。（それぞれ1つに○）

	①希望	②現実（現状）
A. 「仕事」を優先	1	1
B. 「家庭生活」を優先	2	2
C. 「地域・個人の生活」を優先	3	3
D. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先	4	4
E. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	5	5
F. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	6	6
G. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	7	7

問9 あなたは、今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくする
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担についての当事者の考え方を尊重する
5. 男性による家事、子育て、介護、地域活動に関する社会の評価を高める
6. 働き方の見直しを行い、仕事以外の時間をより多く持てるようにする
7. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう、啓発や情報提供を行う
8. 男性の仕事中心の生き方、女性の男性に経済力や出世を求める考えを改める
9. 男性が育児休暇、介護休暇などの休暇を取得しやすい環境をつくる
10. 子どもの頃から、男女の区別なく家庭生活や地域活動を行う必要性を教える
11. その他（具体的に： _____）
12. 特に必要なことはない

（４）仕事について

仕事に従事している方、従事していた方にお聞きします。

問10 あなたは、役職（管理職以上）に就いていますか（就いていましたか）。（どちらかに○）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問11 あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. やりがいのある仕事ができる | 2. 賃金が上がる |
| 3. 能力が認められた結果である | 4. 家族から評価される |
| 5. 自分自身で決められる事柄が多くなる | 6. やるべき仕事が増える |
| 7. 責任が重くなる | 8. うらやみや妬みが出て足を引っ張られる |
| 9. 仕事と家庭の両立が困難になる | 10. その他（具体的に： _____） |
| 11. 特にない | |

問 12 あなたの職場（元職場）では、次のA～Iの項目について、男女の扱いが平等になっていると思いますか。（それぞれ1つに○）

項 目	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている
A. 募集や採用	1	2	3	4	5
B. 賃金	1	2	3	4	5
C. 業務（内容・責任）	1	2	3	4	5
D. 昇進・昇格	1	2	3	4	5
E. 管理職への登用	1	2	3	4	5
F. 能力評価	1	2	3	4	5
G. 研修（機会・内容）	1	2	3	4	5
H. 働き続けやすさ	1	2	3	4	5
I. 休暇の取得しやすさ（育児・介護休暇を含む）	1	2	3	4	5

自営業で、家族従業者として働いている方にお聞きします。

問 13 あなたの職場では、次のA～Dのそれぞれの項目について、どのような状況になっていますか。（それぞれ1つに○）

項 目	はい	いいえ
A. 経営方針に意見がいえ	1	2
B. 仕事に定休日がある	1	2
C. 1日の就業時間が決まっている	1	2
D. 給与等の報酬を受けている	1	2

仕事をやめたことがある方にお聞きします。

問 14 あなたが、仕事をやめた理由は何ですか。(主なもの 1 つに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 結婚のため | 2. 出産・育児のため |
| 3. 親や病気の家族の介護をするため | 4. 家族の理解・協力が得にくいから |
| 5. 労働条件に不満があったから | 6. 仕事の内容が合わなかったから |
| 7. 病気や怪我のため | 8. ハラスメント（嫌がらせ）を受けたため |
| 9. 会社の都合で | 10. 大学などに行ったり資格を取るため |
| 11. 家業に就くため | 12. 年になったから |
| 13. その他（具体的に： | ） |

すべての方にお聞きします。

問 15 あなたが、女性の割合が増える方がよいと思う職業や役職は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. 国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員 |
| 2. 都道府県・市町村の首長 |
| 3. 企業の経営者 |
| 4. 職場の管理職 |
| 5. 弁護士・医師などの専門職 |
| 6. 大学・企業などの研究者 |
| 7. 自治会・PTA などの役員 |
| 8. その他（具体的に： |
| 9. 特にない |

問 16 あなたは、政治や行政において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が進んでいない理由は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 家庭、職場、地域における性別役割分担、性差別の意識 |
| 2. 男性優位の組織運営 |
| 3. 家庭の支援、協力が得られない |
| 4. 女性の能力開発の機会が不十分 |
| 5. 女性の活動を支援するネットワークの不足 |
| 6. 女性側の積極性が不十分 |
| 7. その他（具体的に： |

問 17 あなたは、女性が仕事を持つことについてどう思いますか。（1つに○）

1. 子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい
2. 子どもができるまでは、仕事を持つ方がよい
3. 結婚するまでは、仕事を持つ方がよい
4. 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事を持つ方がよい
5. 女性は仕事を持たない方がよい
6. その他（具体的に： _____）

問 18 問 17 でお答えになった回答について、なぜそのように思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 女性は家庭を守るべきだと思うから
2. 働くことを通じて自己実現が図れると思うから
3. 子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから
4. 保育料などを払うより、母親が家で子どもの面倒を見た方が合理的だと思うから
5. 女性も経済力を持った方がいいと思うから
6. より多くの収入を得られるから
7. 女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから
8. 少子高齢化で働き手が減少しているので、女性も働いた方がいいと思うから
9. 仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから
10. 働き続けるのは大変そうだと思うから
11. その他（具体的に： _____）
12. 特にない

問 19 あなたは、女性が出産後なども離職せずに働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 子どもを預けられる環境の整備（保育所や学童クラブなど）
2. 介護支援サービスの充実
3. 家事・育児支援サービスの充実
4. 男性が家事・育児・介護をすることへの理解・意識改革
5. 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
6. 働き続けることへの女性自身の意識改革
7. 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方の改革
8. 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
9. 男性の育児休業・介護休業の取得の推進
10. 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
11. 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止
12. その他（具体的に： _____）
13. 特にない

問 20 出産などでいったん離職した女性が、再び社会で活動する仕方として、あなたがいいと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. これまでの知識・経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する
2. 仕事と家事・育児・介護の両立のしやすさなどを重視し、正社員として再就職する
3. これまでの知識・経験を生かして働けることと、働く時間や場所の両方を重視して、パート・アルバイトなどで再就職する
4. 働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する
5. 家事・育児・介護の経験を生かした仕事により地域に貢献する
(ヘルパー、保育補助、家事代行)
6. これまでの経験を生かしてボランティアや NPO 活動で地域に貢献する
(育児・介護ボランティア、PTA、防災・治安パトロール、リサイクル活動など)
7. これまでの経験を生かして起業する
(小売店経営、IT 企業設立、ボランティア団体設立など)
8. 家事以外で活動する必要はない
9. その他(具体的に:)
10. 特にない

(5) 配偶者等からの暴力(DV)について

問 21 あなたは、DVに関する次のことについて知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった人から受ける暴力を、いわゆる「ドメスティック・バイオレンス(DV)」と呼ぶこと
2. DVには、殴る、蹴るなど身体的暴力だけでなく、精神的・性的暴力も含まれること
3. DV被害者を支援するために、法律(「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」)が制定されていると
4. 県や名古屋市が設置している配偶者暴力相談支援センターにおいて、相談や被害者の一時保護を行っていること
5. DVを受けている者を発見した者は、配偶者暴力相談支援センター又は警察に通報するよう努めなければならないこと
6. その他(具体的に:)

問 22 DV(ドメスティック・バイオレンス)の相談窓口について、あなたが知っているものは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 愛知県女性相談センター | 2. 愛知県女性相談センター海部駐在室 |
| 3. 愛知県警察本部 | 4. 名古屋法務局 |
| 5. 愛西市役所 社会福祉課 | 6. その他(具体的に:) |
| 7. 知らない | |

問 23 あなたはこれまでに、あなたの配偶者や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 暴行を受けたことがある
2. 殴るふりをされるなど、脅されたことがある
3. 大声でどなられたり、暴言を吐かれたことがある
4. 交友関係や電話・メールを細かく監視されたことがある
5. 何を言っても長期間無視され続けたことがある
6. 「誰のおかげで生活できるんだ」とか「頼りにならない」と言われたことがある
7. 生活費を渡さないなど、経済的に押さえつけられたことがある
8. 外で働くなと言われたり、仕事を辞めさせられたりしたことがある
9. いやがっているのに性的行為を強要されたことがある
10. 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられたことがある
11. そのようなことはなかった

問 23-1 は、問 23 で「1. ～10. 」のいずれかに答えた方にお聞きします。

問 23-1 配偶者や恋人からの行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。
(どちらかに○)

1. 相談した

2. 相談しなかった

問 23-2 へ

問 23-1 で「2. 相談しなかった」と答えた方にお聞きします。

問 23-2 相談しなかったのは、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 誰も相談する人がいなかったから
2. どこ(誰)に相談してよいのかわからなかったから
3. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
4. 相談しても無駄だと思ったから
5. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
6. 相談先の担当者や相談者の言動により不快な思いをと思ったから
7. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
8. 世間体が悪いから
9. 他人を巻き込みたくなかったから
10. そのことについて思い出したくなかったから
11. 自分にも悪いところがあると思ったから
12. 相談するほどのことでもないと思ったから
13. その他(具体的に:)

(6) 男女共同参画社会について

問 24 あなたは、次のA～Lのそれぞれの用語についてご存知ですか。(それぞれ1つに○)

項 目	知 っ て い る	見 聞 き し た こ と は あ る が、 内 容 は 知 ら な い	知 ら な い
A. 男女共同参画社会	1	2	3
B. ジェンダー	1	2	3
C. エンパワーメント	1	2	3
D. セクシュアル・ハラスメント	1	2	3
E. ポジティブ・アクション	1	2	3
F. ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
G. LGBT	1	2	3
H. 女子差別撤廃条約	1	2	3
I. 男女雇用機会均等法	1	2	3
J. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	1	2	3
K. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）	1	2	3
L. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）	1	2	3

用語解説



A. 男女共同参画社会

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会。

B. ジェンダー

社会通念や慣習の中にある、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」のことを指すもの。

C. エンパワーメント

社会や組織の一人ひとりが、抑圧されることなく力を付けることで、大きな影響を与えるようになること。

D. セクシャルハラスメント

相手の意に反した性的な性質の言動で、身体への不必要な接触、性的関係の強要、性的なうわさの流布、衆目に触れる場所へのわいせつな写真の掲示など、様々な態様のものを含む。

E. ポジティブ・アクション

様々な分野で、活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲内で、いずれか一方に対して機会を積極的に提供し実施するもの。

F. ワーク・ライフ・バランス

一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働きながらも、家庭や地域生活においても多様な生き方が選択・実現できること。

G. L G B T

女性の同性愛者（Lesbian レズビアン）、男性の同性愛者（Gay ゲイ）、両性愛者（Bisexual バイセクシャル）、こころの性と身体の性の不一致（Transgender トランスジェンダー）の頭文字をとってつくられた言葉。

J. リプロダクティブ・ヘルス／ライツ

リプロダクティブ・ヘルスとは、性や子どもを産むことに関わるすべてにおいて、身体的にも精神的にも社会的にも良好な状態であること。リプロダクティブ・ライツは、自分の意思が尊重され、自分の身体に関することを自分自身で決められる権利のこと。

問 25 あなたは、男女共同参画社会をつくるため、個人が心掛けることとして何が最も必要だと思いますか。(1つに○)

1. 「男らしく」「女らしく」ということにとらわれず、「自分らしく」行動する
2. 男女ともに独立した人格としての自覚と責任意識を高める
3. 性別に関する偏見や先入観を持たないように心掛ける
4. 男女が互いに対等な存在として評価・尊重する意識を持つ
5. その他(具体的に:)

問 26 あなたは、男女共同参画社会をつくるため、家庭で取り組むこととして何が最も必要だと思いますか。(1つに○)

1. 夫婦での関係を対等にする
2. 家事、育児、介護は、男女を問わず分担し、協力する
3. 家事や育児の重要性を正當に評価する
4. 「嫁・姑」「後継ぎ」「墓」「氏」など、家系を中心にした家族観や慣習を改める
5. 子育てにおいて、性別によって教育やしつけの方針、態度を区別しない
6. その他(具体的に:)

問 27 あなたは、男女共同参画社会の実現のために行政(国・県・市)はどんなことに力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う
2. 女性を政策決定の場に積極的に登用する
3. 民間企業・団体(自治会や地域活動団体を含む)等の女性のリーダーを養成する
4. 職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底を行う
5. 女性の就労の機会を増やしたり、女性の職業教育や職業訓練を充実する
6. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
7. 子育てや介護等で仕事を辞めた人の再就職の支援をする
8. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める
9. 保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する
10. 男女の平等と相互の理解や協力についての学校教育・社会教育を充実する
11. 女性の生き方に関する情報提供や交流・教育の場を充実する
12. 悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する
13. 各国の女性との交流や情報提供などの国際交流を推進する
14. その他(具体的に:)

■ 男女共同参画に関して、ご意見がございましたらお聞かせください。

あなた自身のことについて

F 1 あなたの性別をお答えください。答えたくない方は、「3. その他」に○を付けてください。
(いずれかに○)

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18～29 歳 | 2. 30～39 歳 | 3. 40～49 歳 |
| 4. 50～59 歳 | 5. 60～69 歳 | 6. 70 歳以上 |

F 3 あなたの職業をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|----------------------------|--------------------|--------|
| 1. 勤め人 (パートタイム・アルバイトなどを含む) | | |
| 2. 自営業 (農林漁業) | 3. 自営業 (商・工・サービス業) | 4. 自由業 |
| 5. 内職 | 6. 無職 | 7. 学生 |
| 8. その他 (具体的に: | |) |

F 3-1 は、F 3 で「1. 勤め人 (パートタイム・アルバイトなどを含む)」と答えた方にお聞きします。

F 3-1 あなたの就労形態をお答えください。(1つに○)

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1. 常勤の仕事 | 2. 非常勤の仕事 (パート・アルバイトなど) |
| 3. その他 (具体的に: |) |

F 4 婚姻の状況をお答えください。(1つに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 既婚 (事実婚、パートナーと暮らしている場合も含む) |
| 2. 未婚・離婚・死別等により配偶者なし |

F 4-1 は、F 4 で「1. 既婚」と答えた方にお聞きします。

F 4-1 共働きをしていますか。(どちらかに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

F 5 お子さんはいますか。(どちらかに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

F 6 家族構成をお答えください。(1つに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみ (一世代家族) |
| 3. 親と子ども (二世世代家族) | 4. 親と子どもと孫 (三世世代家族) |
| 5. その他 (具体的に: |) |

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒 (切手不要)に入れて、9月4日 (金)までに返送してください。